



だての郷通信

ひびき

令和6年12月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 だての郷

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

12月の主な行事

- 12月2日(月)～6日(金) ミニドライブ週間
- 4日(水) 焼いも体験会
- 7日(土) 土曜利用日(伊達市社協クリスマス会)
- 11日(水) ダンス教室
- 13日(金) 11月分報奨金支給
- 16日(月) シュース購入日
- 18日(水) 誕生会
- 25日(水) クリスマス会
- 27日(金) 利用者忘年会・仕事納めの式
- 28日(土)～1月5日(日) 年末年始休業

12月生まれの皆さん

お誕生月おめでとうございます

浅野 恵美さん

誕生月おめでとうございます！

12月18日に誕生会を行います。
お楽しみに。

地震の揺れを体験！！



起震車に乗る利用者さんと職員(写真中央の3人)、その様子を見守る消防署員

11月15日に、ほどはら授産所とだての郷合同総合避難訓練を行いました。この訓練は通常の訓練より具体的に実践形式で行うもので、今回は大きな地震が発生、揺れの間、作業場で机の下に隠れ身を守り、揺れが治ったら施設倒壊の危険があり広場に避難、そのうちにだての郷厨房から火災が発生、119番通報し、さらに安全なところに避難する訓練を行いました。利用者の皆さんたちは、落ち着いて行動し、避難することができました。

その後、今回の災害想定が大地震だったので、この日は伊達地方消防組合様のご高配で、福島県内に1台しかない起震車による地震の揺れの体験を行いました。利用者さんの中から希望する人が職員と一緒に乗って、揺れを体験しました。阪神淡路地震や新潟中越地震などを再現してもらい、その揺れを体験しました。揺れは徐々に大きくなり最大震度まで達すると机にしがみつ



揺れを体験する利用者さん



講評をお話する消防署員



起震車をバックに集合写真

こらえるのがやっとならぬ、揺れが治まるようお願いながら乗っていました。この日の起震車体験、最後の回では一番大きな揺れを再現することになり、1923年（大正12年の関東大震災）の揺れをほどはら授産所の利用者さんが体験しました。

起震車体験後、中央消防署署員から全体的な講評と避難する際のポイントは、慌てず冷静になって避難するようにとのお話がありました。最後に伊達地方消防組合中央消防署から来ていただいた署員の皆さんに利用者代表から御礼の言葉があり、無事訓練を終えることができました。

まちなかの秋を満喫！

秋の 11/6
歩こう会



大泉運動公園で記念写真（中距離グループ）



雨上がりの道をゆっくり歩く利用者さんと職員



町なかの秋を感じながら歩く利用者さん

11月6日（水）秋の歩こう会を実施しました。当日、出勤時刻の8時半過ぎまで本降りの雨で室内でのレクリエーション大会に切り替える段取りを取り始めていました。しかし8時50分頃、雨がやみ始め空が明るくなってきたところ天気予報も回復の予報に、思いっきりの方針転換、歩こう会実施と決めました。

だての郷を発着とする長距離3グループと保原総合運動公園内を散策する3グループに分かれ、2つの長距離グループには保護者の方も参加いただいて歩きました。

時折雲の切れ間から陽射しが出るものの小雨が降ったりやんだりの中でしたが、参加し



大泉運動公園で記念写真（中距離グループ）

た全てのグループのみなさんが元気に歩いてくることができました。特に保護者の方の参加が多かった最長距離グループがだての郷に到着した時、出発した時の曇り空が嘘のように晴れやかな日差しの下、利用者と保護者の皆さんが笑顔で帰ってきたシーンは印象的でした。

参加いただいた保護者のみなさま、大変お疲れさまでした。利用者みなさま、これから寒さが厳しくなっていきますが、歩くことができるときは、体調に注意しながら頑張ってください。歩いていきましょう。（記：高橋健二）

福祉作品展に初出展！

11月8日(金)から10日(日)の3日間、伊達市役所シルクホールで開催された伊達市福祉作品展に、だての郷から今回、初出展しました。出展を決めた9月から10月にかけて、利用者みなさん一人ひとりカードに絵をかきたい人は絵を、自分の思いを文字にしたりして、それらのカードをボードに貼って、出来上がったのが今回の作品です。

多くのカードに好きなものや人をイメージするものが多かったことから、タイトルは『ぼくの、わたしのだいじなもの』にしました。

会場に見に行くことができなかつた方々も多いと思います。紙上で作品を掲示しますので、ご覧ください。



市役所シルクホールに見に行った利用者さんたち



『ぼくの、わたしのだいじなもの』（だての郷出展作品）

11月生まれ誕生者を祝う！



11月生まれの原さん[㊦]と山口さん

11月27日、11月生まれの利用者さんを祝う誕生会を行いました。

今回は、山口美保さん、原啓さんが誕生月でした。つどいでは職員が歌う♪ハッピーバースデーに合わせてみんなで歌い、そのあとみんなで焼きプリンをいただき、二人をお祝いをしました。誕生者へのインタビューコーナーもあり、楽しいひと時となりました。みなさん、おめでとうございます。お二人ともこれからも元気に笑顔いっぱいにご過ごせますように。

人権擁護研修会開く



はじめに島さん[㊦]が講話をしました

11月21日、当法人だての郷・ほどはら授産所・グループホームスクラムの職員を対象に、利用者さんへの虐待防止・人権擁護に関する研修会をほどはら授産所で行いました。

当日は、ふくしま基幹相談支援センター相談支援専門員 島一真氏を講師に迎え、虐待の定義、利用者さんへの接し方などの講話と、4グループに分かれ自分たちが選んだテーマで討議の時間を設け、利用者さんへの心くばり、人権を守る言葉かけや支援の仕方について話し合い、利用者さんの人権擁護・虐待防止への理解を深めました。普段の接し方について見方を変えた場合、虐待事案になる可能性もあります。細かいことであっても、気をつけて接することの大切さを学びました。



研修のまとめのお話を聞く職員のみなさん



グループ討議をする職員のみなさん

編集後記 /月めくりカレンダーも12月1枚になってしまいました。今年を振り返り、楽しかったこと、反省したこと、やり残したことなど、それぞれあるかと思います。今年にはコロナ禍から一歩踏み出し、あぶくま祭りが再開できたことが一番のトピックだと思います。これまでの自粛が解け、内部のつどいででしたが皆さんの前で発表出来て良かったと思います▼コロナ禍自粛明けでいうと、歩こう会に保護者の方々のご参加どうもありがとうございました。親子で歩いて健康づくり、大変いいことです。ぜひ生活の習慣に加えてください▼本紙を1年間お読みいただき、御礼申し上げます。来年もどうぞよろしくお願ひします。皆様、良いお年をお迎えください。(M)